



新潟県

富山県

群馬県

長野県

松代城

上田城

小諸城

松本城

龍岡城

高島城

高遠城

岐阜県

山梨県

苗木城

岩村城

静岡県

富士山

26 松代城

まつしろじょう

--- 100名城 ---
2020.10.02



別名： 海津城(かいづじょう)・貝津城・長野城・茅津城(かやつじょう)

元々は海津城(かいづじょう)と呼ばれていたが貝津城とも言われた。
また茅津城(かやつじょう)とも言われ茅の生い茂った地であったと伝える
説もある。

※ 越後国頸城郡[新潟頸城(クビキ)群]にある松代城の読みは、「まつだい」である。
戦国時代、武田信玄が上杉謙信の攻撃に備え、山本勘助に命じて築城。千
曲川のほとりという自然の地形を生かした天然要塞。



FB - 080



「城めぐりチャンネル」より

復元された本丸入口「太鼓門」。映画などの撮影に使われることも
(例： 清須会議、花のあと、殿・利息でござる、大河ドラマ「真田丸」など)。



海津城址之碑



戌亥櫓にて



太鼓門(高麗門風)

戌亥櫓

裏側からのパノラマ写真

27 上田城

--- 100名城 ---
2020.10.02



別名: 尼が淵城・伊勢崎城・松尾城・真田城

上田城の本丸櫓に入った時に、窓枠に5円玉が並べてあり、不思議に思い受付の人にお聞きして初めて真田家の家紋を知りました。それで色々調べていくと、下記のごとく意味合い深いものであることが分かりました。やはり生きること必死で、死んだ後もわが身の極楽浄土を願っていたことが伺われます。



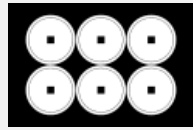
真田幸隆・真田昌幸といった真田家の家紋は「六文銭」で、六連銭とも言います。

真田家が六文銭を旗印や家紋にした意味は、下記の通りになります。

三途の川での渡し賃は、六文であると当時信じられていて、旅人はいつ死んでも大丈夫のように、衣服の裾に六文銭を縫い付けたと言われています。

そもそも、三途の川と言うのは、三筋の川があると言う意味で、渡河方法が三種類あったとされます。

- ・善人 金銀七宝で作られた「橋」を渡れます。
- ・軽い罪人 山水瀬と呼ばれる浅瀬を渡れます。
- ・重い罪人 強深瀬、あるいは江深淵と呼ばれた難所を渡ります。



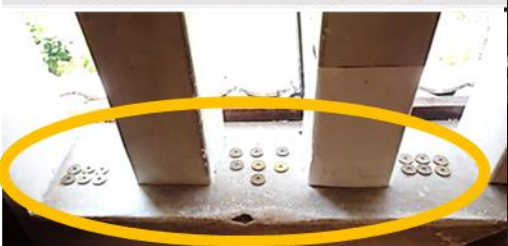
平安末期になると「橋を渡る」と言うのが無くなり、全員が「川を渡る」と言う事になり、そのあとは、全員が「渡舟」で渡河するという考え方に変化していきました。

また別の諸説では、六文銭は地藏信仰による仏教色の強い家紋で、仏教では許されない殺生を仕事とした武将がその救済を求めて用いたともされています。

六文って、いくらくらいかと申しますと、江戸初期の貨幣価値で、今で言う300円程度となります。すなわち、50円が6枚ですね。



本丸櫓の窓に置いてある五円玉(下)と六文銭(上)



西櫓と東の南櫓

28 小諸城

こもろ

--- 100名城 ---

2020.10.02



別名: 酔月城・穴城(あなしろ)・白鶴城

FB - 082

小諸城跡内には先に紹介しました長篠城跡同様、線路(旧JR「しなの鉄道」)が通っています。ただ線路で分断されていますが大手門と三の門間は通路で結ばれています。

分断西側の本丸跡周辺は懐古園という名の公園で開放(有料)され、東側の大手門側は住宅地の中にあり無料で開放されています。

小諸城は武田信玄が甲斐から東信州へ領土を広げていた際に構築した城で、城下町よりも低い位置に城を築いた「穴城」と呼ばれる珍しい構造(日本唯一)。つまり城の玄関口である大手門がもっとも標高の高い場所にあり、本丸がもっとも低地にあります。本丸を城郭の片隅に配置する梯郭式(ていかくしき)という縄張りですが、このスタイルは本丸の守りが弱いという欠点がありますが、小諸城の場合は、本丸の先は千曲川の断崖となっています。



三の門(国の重要文化財)



大手門



懐古園内

29 松本城

--- 100名城 ---
2020.10.01



別名： 深志城 (ふかじょう)

戦国時代(1504-1520年)に、信濃守護家小笠原氏が林城を築城し、その支城の一つとして深志城が築城され、後に松本城と呼ばれた。市民からは烏城(からすじょう)¹²⁾とも呼ばれているが、文献上には烏城という表記はありません。

天守が国宝指定された5城のうちの一つである(他は姫路城・犬山城・彦根城・松江城)。



FB - 083



明治30年代頃より天守が大きく傾き、これを憂いた松本中学(旧制)校長らにより、天主保存会が設立され、1903年(明治36年)より1913年(大正2年)まで「明治の大修理」が行われました。



傾いた天守(明治時代)



30 高遠城

たかとお

--- 100名城 ---

2020.10.03



別名： 兜城、兜山城

高遠城は諏訪氏一門の高遠頼継が居城していたが、諏訪氏当主とは反目し、1541年に甲斐守護武田晴信(信玄)に内応して諏訪攻略を援護し、頼重は武田により滅ぼされる。そのうち高遠頼継も武田氏に滅ぼされ、のち戦国時代での変遷をへていく。

江戸時代になり1691年内藤清枚が3万3千石で入封し以後、高遠城は内藤氏8代の居城として明治維新を迎える。



FB - 084



高遠城を車で下城して山梨に向かっていたら、「高遠そば」ののぼりを立てているお蕎麦屋さんがあり、丁度お昼時でもあったので思わず吸い込まれ食しました。な、なんとその美味にびっくりで、2日後の山梨からの戻り時、ちょっと遠回りの寄り道で再度食してしまいました。

写真にあるように、つゆに焼き味噌(味噌は普通のもの)を混ぜ合わせます。香ばしい香りが何とも言えないものでした。



本丸跡(高遠公園)



高遠そば

竹へら上の味噌の表面を焼き焦がしたもの

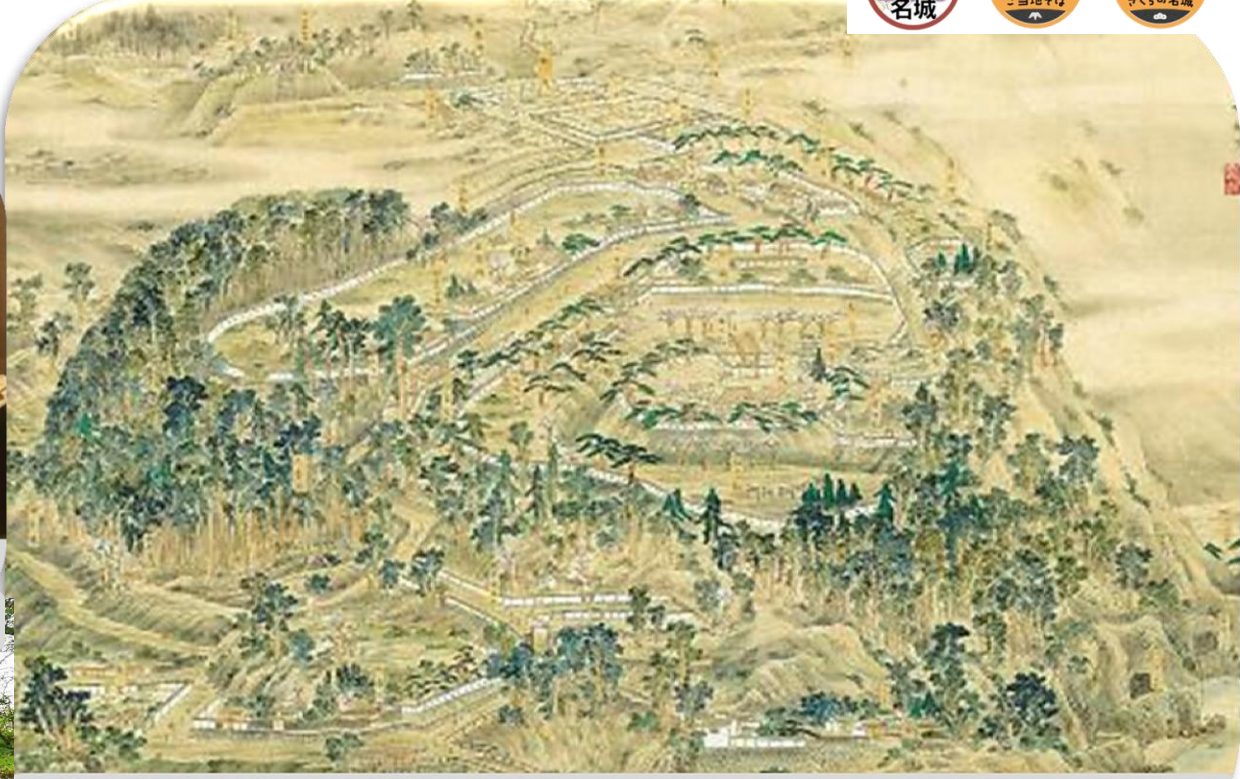
薬味

ゴマすり器、すりこ木



太鼓櫓

本丸入口に建つ問屋門



池上秀畝画 「旧高遠城之真景」

129 龍岡城

たつおか

--- 続100名城 ---

2020.10.02



別名: 龍岡城五稜郭、桔梗城

龍岡城のある龍岡藩は1万6千石の小藩で、城主の格式は認められていないため、厳密には城ではなく陣屋となります。

日本に二つある五芒星形の星型要塞のうちの一つです。(もう一つは北海道函館市の五稜郭[日本100名城No.2です])。龍岡城が出来上がったのは、函館五稜郭の完成(1864年)から3年後で、総面積は約2万75坪で、五稜郭の約半分です。



FB - 085

唯一の現存建物のお台所(他場所から五稜郭内へ移築)は、予約制のため内部の見学ができなかったのが残念でした。郭内は明治時代から勉学施設に利用されており現在は小学校として利用しているとのこと。何とも寂しい見学でした。



五稜郭であいの館



五稜郭であいの館

龍岡城大手門跡

お台所

佐久市立田口小学校

小学校舎



お台所(唯一の現存建築物)



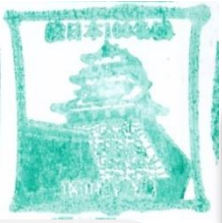
龍岡城のジオラマ



グーグルMap

130 高島城

--- 続100名城 ---
2020.10.03



別名： 諏訪の浮城(うきしろ)、島崎城、諏訪高島城、茶臼山城



かつては諏訪湖に突き出した水城で「諏訪の浮城」と呼ばれていた、江戸時代初めに諏訪湖の干拓が行われ、水城の面影は失われたが、浮城の異名を持っていたことから日本三大湖城の一つに数えられている。



諏訪市パンフレット

諏訪高島城

冠木門(かぶきもん)

